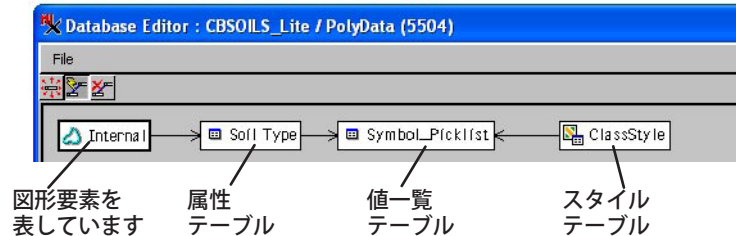


Brand New in 2009!

## 図形属性の値一覧

値一覧とスタイルテーブルの関係



TNT テーブルの  
ツリー表示

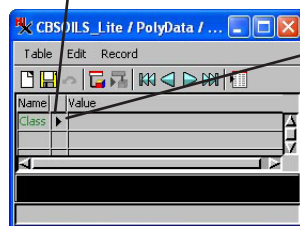
値一覧は、図形オブジェクト中の要素に関連付ける属性として、使用可能な値のセットを提供します。例えば、郡全体の土壌図で使用可能な土壌タイプにはその郡に存在するあらゆる土壌タイプが含まれるでしょうし、水路に排出するための管の位置に対する選択肢としては、河川の上流や右岸、左岸となるでしょう。値一覧は、特に空間エディタにおいて便利で、ワンクリックするだけで新規要素に属性を割り当てることができます。

- ・ マウスをワンクリックするだけで属性を割り当てます。
- ・ キーボードなしで操作できます。
- ・ シンボル／パターンを使って、すばやく正しい選択肢を指定できます。
- ・ 値一覧のある図形オブジェクトから作成したテンプレートは、値一覧を自動的に含みます。
- ・ 値一覧を使って、テーブル内の複数のフィールドに書き込めます。
- ・ 値一覧から選んだ属性を使って、計算フィールドを実行できます。

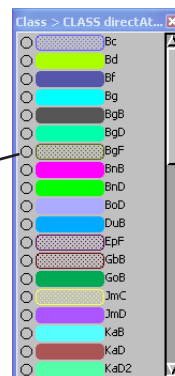
値一覧は「リレートのみ」のテーブルにおいて、「主キー」フィールドとして設定されます。他のテーブルにあるフィールドで、その主キーフィールドを指すものであれば、値一覧として使用可能な主キーの値を全て持ちますので、その主キーを参照する属性テーブルにおいて属性の割り当てに利用できます。値一覧を提供する主キーが図形オブジェクトの描画スタイルの提供に使われると、ポイントシンボルやラインパターンのスタイルが値一覧の中に表示されます(下図)。値一覧からの属性の割り当ては、**マウスをワンクリックするだけです。**

属性の値一覧は、他のデータベース構造と同じで、図形オブジェクトテンプレート内に保持され、テンプレートから新規の図形オブジェクトを作成するとすぐに利用できます。値一覧はリレーショナルデータベース構造を必要としますが、例えばシェイプファイルや MapInfo TAB ファイルなどの直接表示をサポートしていて、元々リレーショナルデータベースをサポートしていないファイルフォーマットに対しても、TNT 製品を使えば設定が可能です。

この属性に対して値一覧が利用できることを示すボタン。このボタンをクリックすると、値一覧が開きます。



値一覧から割り当て可能な値をもつ属性の表示(単一レコード表示)。



スタイルを持った属性の値一覧ウィンドウ

